

第1回 津波災害時における自動車避難検討部会 議事録

日 時 平成29年1月30日(月) 午前10時00分から

場 所 いわき市役所本庁舎第8会議室

【次 第】

1 開 会

2 検討部会設置の説明

3 部会長あいさつ

4 部会員自己紹介

5 協 議

(1) 11月22日の避難や道路の状況に係る情報共有について

(2) 課題の抽出について

(3) 今後の検討部会の進め方について

6 そ の 他

7 閉 会

【出席者】

部会員14名(欠席者なし)、事務局10名

※出席者内訳については、別紙「津波災害時における自動車避難検討部会委員名簿」のとおり

【協議概要】

(1) 11月22日の避難や道路の状況に係る情報共有について

⇒警察3署、市役所沿岸部各支所、道路管理者から、11月22日時点での状況報告を受け、出席者間の情報共有を図った。

(2) 課題の抽出について

⇒東北大学・杉安助教がこれまで実施してきた沼ノ内、薄磯地区の住民アンケートに関し、途中経過を報告。次の4点が課題であることを確認した。

①11月22日に発生した渋滞が、避難によるものか、出勤による通常の渋滞なのか判別が難しい。

②避難所へのルートが、広い道路から狭い道路へ入らざるを得ないことから、そこで

渋滞が発生してしまう。

③発災の時間帯の関係で、避難所の開設が遅れてしまった。

④原発事故を連想してしまう精神的な問題が窺える。

(3)今後の検討部会の進め方について

⇒先進事例として、宮城県亶理町では地震・津波の避難計画を有しているため、で意見交換を実施した旨を報告する。また、民間所有の避難スペースの利用など、ローカルな避難場所検討の必要性のほか、今後、東北大学や東京大学がアンケートを実施するため、これらの結果も含めて対応方法等を検討する。

【次回開催予定】

平成 29 年 2 月中旬に開催予定。次回は亶理町の先進事例の紹介や、アンケート結果を報告出来るよう進めることとしたい。